



文京区
シンボルマーク

▲区制70周年を契機に
制定した区のシンボ
ルマークです。



区報 ふんきょう

(仮称)「文の京」総合戦略特集号

■主な内容 (仮称)「文の京」総合戦略の策定・主要課題の一覧	1面
主要課題の解決に向けた設問	2～3面
参考データ(人口)、意見提出方法、意見提出用はがき	4面

令和元年
(2019) **9/24**

発行/文京区
編集/企画政策部企画課
〒112-8555 文京区春日1-16-21
代表 ☎ (3812) 7111
<https://www.city.bunkyo.lg.jp/>

区の課題を解決する取組について 皆様のご意見をお聞かせください

(仮称)「文の京」総合戦略の策定を進めています

区では、平成22年(2010年)6月に策定した現行の「基本構想」が、令和2年度(2020年度)当初に計画期間のおおむね10年を迎えるとともに、3年を計画期間とする「基本構想実施計画」についても、本年度が最終年度となることから、最上位の行政計画となる(仮称)「文の京」総合戦略(以下「総合戦略」という。)の策定を進めています。

みんなが主役のまち「文の京」の明るい未来をつくるため、 暮らしや地域の「主要課題」の解決に向けて、ご意見を募集します (2～3面に設問があります)

区を取り巻く社会状況は、人口構成の変化やライフスタイルの多様化、ICT技術の進展など、今後更に変化することが予想され、行政サービスの多様化が進む中、これまで以上に、迅速かつ柔軟に課題を解決していくことが必要です。

そのため、総合戦略では、社会の動きを捉え、皆さんの暮らしや地域において、計画期間(令和2年度(2020年度)～令和5年度(2023年度)の4年間)で、区が優先的に取り組むべき課題として54項目の「主要課題」を選定し、現在、その主要課題を解決する取組を検討しています。

みんなが主役のまち「文の京」の明るい未来をつくるため、主要課題の解決に向けて、広く区民の皆さんからご意見を伺い、総合戦略の策定につなげてまいります。

なお、今後、素案がまとまりましたら、パブリックコメント等を実施する予定です。

主要課題の一覧

【基本政策】子どもたちに輝く未来をつなぐ

- ① 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援
- ② 保育サービス量の拡充・保育の質の向上
- ③ 子育て支援サービスの安定的な提供
- ④ 子どもの発達に寄り添った支援体制の整備
- ⑤ (仮称)文京区児童相談所設置に伴う総合的な支援体制の整備
- ⑥ 子どもの貧困対策
- ⑦ 子どもの健康・体力の向上
- ⑧ 新しい時代の「学力」向上
- ⑨ 共に生きるための豊かな心と行動力(共生力)の育成
- ⑩ 不登校への対応力強化
- ⑪ 学校施設等の計画的な改築・改修等
- ⑫ 就学児童の多様な放課後の居場所づくり
- ⑬ 青少年の健全育成と自主的な活動の支援



【基本政策】健康で安心な生活基盤の整備

- ⑭ 介護サービス基盤の充実
- ⑮ 在宅医療・介護連携の推進
- ⑯ 認知症施策の推進
- ⑰ 介護予防・地域での支え合い体制づくりの推進
- ⑱ 高齢者の居住安定の支援
- ⑲ 高齢者の見守りと権利擁護
- ⑳ 地域共生社会を目指した総合的・包括的な相談支援体制の整備
- ㉑ 障害者の自立に向けた地域生活支援の充実
- ㉒ 障害者の一般就労の定着・促進
- ㉓ 障害者差別の解消と権利の擁護
- ㉔ 生活困窮者の自立支援
- ㉕ 適正な医療保険制度の運営
- ㉖ 区民の主体的な生活習慣の改善
- ㉗ がん対策の推進
- ㉘ 総合的な自殺対策の推進
- ㉙ 受動喫煙等による健康被害の防止

【基本政策】活力と魅力あふれるまちの創造

- ㉚ 中小企業の企業力向上
- ㉛ 商店街の活性化
- ㉜ 消費者の自立
- ㉝ 文化資源を活用した文化芸術の振興
- ㉞ 誰もが観光に訪れたいまちの環境整備
- ㉟ 都市交流の促進

【基本政策】文化的で豊かな共生社会の実現

- ㊱ 地域コミュニティの活性化
- ㊲ 図書館機能の向上
- ㊳ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進とレガシーの継承
- ㊴ 男女平等参画社会の実現
- ㊵ 人権と多様性を尊重する社会の実現

【基本政策】環境の保全と快適で安全なまちづくり

- ㊶ 誰もが暮らしやすいまちのバリアフリー化の推進
- ㊷ 安全・安心で快適な公園等の整備
- ㊸ 地域の特性を生かしたまちづくり
- ㊹ 移動手段の利便性の向上
- ㊺ 地球温暖化対策の総合的な取組
- ㊻ 循環型社会の形成
- ㊼ 生物多様性と都市の発展・再生
- ㊽ 地域防災力の向上
- ㊾ 災害に強い都市基盤の整備
- ㊿ 防災拠点機能の強化
- ㊽ 災害時の要配慮者への支援
- ㊽ 地域の犯罪抑止
- ㊽ 管理不全建築物等の対策の推進
- ㊽ 総合的な交通安全対策の推進

主要課題を解決する取組について、皆様のご意見をお聞かせください!

子どもたちに輝く未来をつなぐ

【主な現状】

子育て

- 年間約2,000人の赤ちゃんが誕生
- 保育所等の定員数は5年前の約2倍の6,314人
- 児童虐待の相談件数は増加傾向



教育

- 児童・生徒の体力は都の目標値より低い
- グローバル化や情報化などによる社会の変化への対応が必要
- 育成室の在籍児童数や放課後全児童向け事業の参加人数が増加
- インターネットによるコミュニケーションが常態化



【設問】

問 A

子どもを望む区民が、安心して子どもを産み育てることができ、全ての子どもたちが、健やかに成長していくためには、どのような取組が必要だと思いますか?

問 B

子どもたちが、学校や地域の中で、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、自立した大人に成長するためには、どのような取組が必要だと思いますか?

【主要課題】

- 1 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援
- 2 保育サービス量の拡充・保育の質の向上
- 3 子育て支援サービスの安定的な提供
- 4 子どもの発達に寄り添った支援体制の整備
- 5 (仮称) 文京区児童相談所設置に伴う総合的な支援体制の整備
- 6 子どもの貧困対策
- 7 子どもの健康・体力の向上
- 8 新しい時代の「学力」向上
- 9 共に生きるための豊かな心と行動力(共生力)の育成
- 10 不登校への対応力強化
- 11 学校施設等の計画的な改築・改修等
- 12 就学児童の多様な放課後の居場所づくり
- 13 青少年の健全育成と自主的な活動の支援

設問に関する主要課題の詳細(「現状」「関連データ」「課題解決に向けて取り組むべきこと」等)をまとめた資料は、区ホームページのほか、地域活動センター、図書館・図書室、行政情報センター(シビックセンター2階)、企画課窓口(シビックセンター15階)にてご覧いただけます。右記二次元コードからもご覧いただけます。

参考資料はこちら



ご関心のある設問にお答えください



【主な現状】

共生社会・学び

- 町会・自治会の加入率は65.8%、おおむね年代が高いほど加入者が多い
- 町会・自治会に期待することとして、「防災・地域安全活動」が最多
- 図書館の予約・リクエストの8割以上がインターネットを利用
- 国内外で男女平等参画社会実現のための取組が推進
- ハラスメント行為や性自認・性的指向への理解不足による差別などの様々な人権課題が顕在化

【設問】

問 H

誰もが、地域とのつながりや文化的な学びの場を持ち、いきいきと暮らせるためには、どのような取組が必要だと思いますか?

【主要課題】

- 36 地域コミュニティの活性化
- 37 図書館機能の向上
- 38 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進とレガシーの継承
- 39 男女平等参画社会の実現
- 40 人権と多様性を尊重する社会の実現



健康で安心な生活基盤の整備

【主な現状】

福祉

- 高齢者のいる世帯数は増加傾向(約4世帯に1世帯)
- 要介護・要支援認定者や認知症高齢者が増加
- 8050問題やダブルケア、ヤングケアラーなどの課題への対応が求められる
- 障害福祉サービスの利用者は増加傾向(年間2,000人超)
- 障害者雇用促進法で定める法定雇用率達成企業数は都全体より低い(約25%)



健康

- 死因のうち、三大生活習慣病(悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患)が約50%
- 各種がん検診(乳がん・子宮がん・胃がん・大腸がん)の受診率は15~27%
- 喫煙習慣は全国や都より低い(約12%)

【設問】

問 C

高齢者や障害者等が、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送るためには、どのような取組が必要だと思いますか?

問 D

区民一人ひとりが、健康的な生活習慣を確立し、心身ともに健康の維持や増進を図るためには、どのような取組が必要だと思いますか?

【主要課題】

- 14 介護サービス基盤の充実
- 15 在宅医療・介護連携の推進
- 16 認知症施策の推進
- 17 介護予防・地域での支え合い体制づくりの推進
- 18 高齢者の居住安定の支援
- 19 高齢者の見守りと権利擁護
- 20 地域共生社会を目指した総合的・包括的な相談支援体制の整備
- 21 障害者の自立に向けた地域生活支援の充実
- 22 障害者の一般就労の定着・促進
- 23 障害者差別の解消と権利の擁護
- 24 生活困窮者の自立支援
- 25 適正な医療保険制度の運営
- 26 区民の主体的な生活習慣の改善
- 27 がん対策の推進
- 28 総合的な自殺対策の推進
- 29 受動喫煙等による健康被害の防止

環境の保全と快適で安全なまちづくり

【主な現状】

まちづくり・環境

- 数多くの坂道や歴史・文化的資源、豊かな緑、人々の賑わいなど、多様な魅力が溢れる
- 区民参画による計画的な公園・児童遊園の再整備等を実施
- 気温の上昇、大雨の頻度の増加など気候変動の影響が現れる
- 食品ロスや海洋プラスチックごみが大きな社会問題として関心が高まる

【設問】

問 I

誰もが、「住み続けたい」「住みたくなくなる」と思う、快適で魅力的なまちや、環境にやさしいまちをつくるためには、どのような取組が必要だと思いますか?



防災・防犯・安全対策

- 首都直下地震等では、避難所での生活者は約4万人(約8割の区民は自宅等で生活)と想定
- 災害時、高齢者や障害者、妊産婦等は避難・情報把握、生活手段の確保等の行動を円滑かつ迅速に行うことが困難
- 刑法犯認知件数は減少傾向で23区最少(年間約1,300件)
- 特殊詐欺や子どもへの声掛け、つきまとい等が発生
- 交通事故死傷者数は年間約450人、自転車関連する割合が増加

問 J

区民一人ひとりが、日頃から防災や防犯、交通安全に対する意識を高め、安全で安心なまちをつくるためには、どのような取組が必要だと思いますか?

【主要課題】

- 41 誰もが暮らしやすいまちのバリアフリー化の推進
- 42 安全・安心で快適な公園等の整備
- 43 地域の特性を生かしたまちづくり
- 44 移動手段の利便性の向上
- 45 地球温暖化対策の総合的な取組
- 46 循環型社会の形成
- 47 生物多様性と都市の発展・再生
- 48 地域防災力の向上
- 49 災害に強い都市基盤の整備
- 50 防災拠点機能の強化
- 51 災害時の要配慮者への支援
- 52 地域の犯罪抑止
- 53 管理不全建築物等の対策の推進
- 54 総合的な交通安全対策の推進

活力と魅力あふれるまちの創造

【主な現状】

産業

- 中小企業数は減少傾向(約13,000事業所)
- 商店会加入店舗数は減少傾向(約2,000店舗)
- 商店街の抱える主要な課題は「後継者不足」「集客の核となる店舗がない・弱い」など

文化・観光・交流

- ゆかりの文化人や文化芸術発信拠点、文化資源が豊富
- 観光インフォメーションへの問合せのうち、まちあるきに関する相談が最多
- 国外3都市、国内12自治体と協定等を締結



【設問】

問 E

区内の中小企業や商店街が、活性化するためには、どのような取組が必要だと思いますか?

問 F

多くの区民が、文化・芸術活動に親しむためには、どのような取組が必要だと思いますか?

問 G

多くの観光客が、文京区を訪れ、また、多くの区民が、国内外の都市と活発に交流するためには、どのような取組が必要だと思いますか?

【主要課題】

- 30 中小企業の企業力向上
- 31 商店街の活性化
- 32 消費者の自立
- 33 文化資源を活用した文化芸術の振興
- 34 誰もが観光に訪れたいくなるまちの環境整備
- 35 都市交流の促進



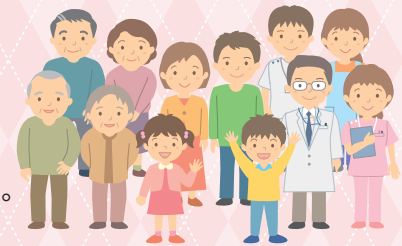
「主要課題を解決する取組」についての意見
「区」や「区民の皆さん(地域)」ができることについて、ご意見をご記入ください。

問 A~J を選択	(関連する主要課題: ①~⑤④を選択(任意))
<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	

問 A~J を選択	(関連する主要課題: ①~⑤④を選択(任意))
<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	

参考データ

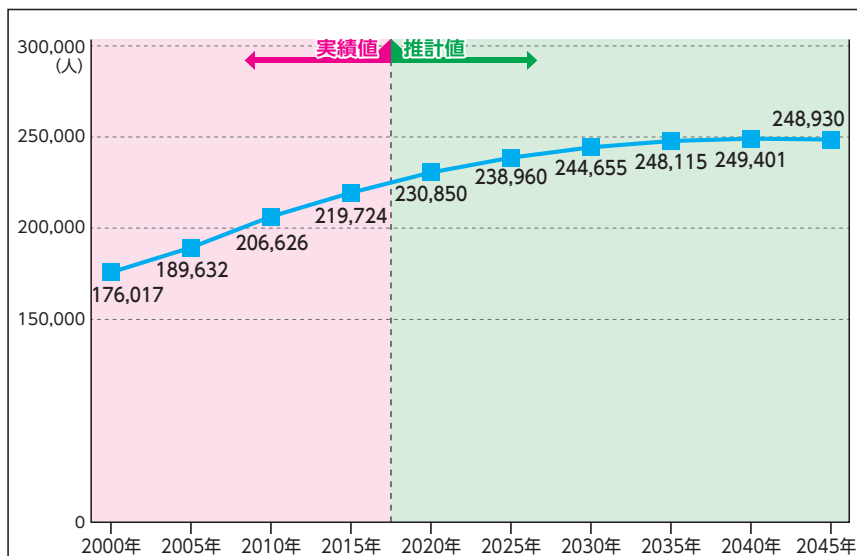
人口で見る文京区の「これまで」と「これから」



区の人口は、増加傾向にあり、現在 22 万人を超えています。増加の要因としては、転入数が転出数を上回る「社会増」によるものが大きいです。さらに、近年では、出生数が死亡数を上回る「自然増」であることも人口増加の要因となっています。

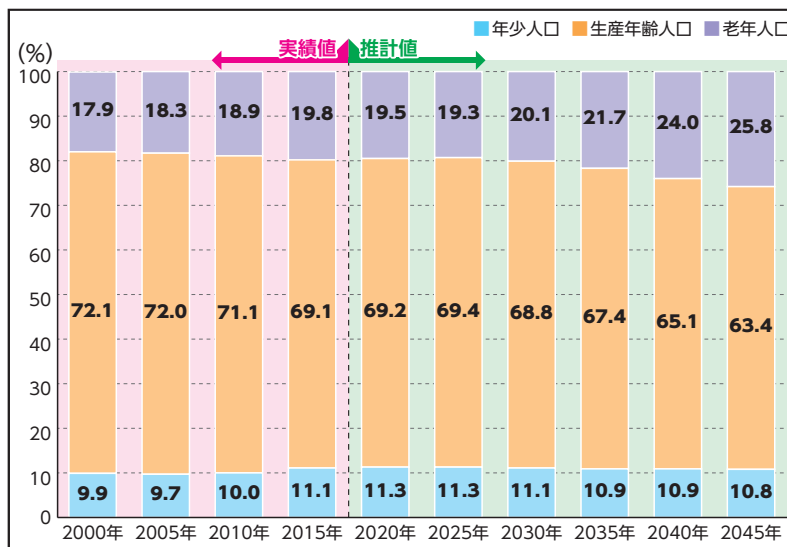
また、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、区の人口は、当面の間、増加傾向が続きます。全国的には少子化への対応が課題となっていますが、区では年少人口（0～14歳）は、総人口の約1割を超える割合で推移する見通しです。しかし、生産年齢人口（15～64歳）の構成割合が低下し、老年人口（65歳以上）の構成割合が増加を続け、高齢化が今後更に進行すると予想されています。

【総人口の推移】



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」より作成

【年齢3区分別人口割合の推移】



意見提出方法 (募集期間 9月24日(火)から10月23日(水)まで)

区民の皆さんのご意見を踏まえて、来年3月を目途に総合戦略を策定していきます。2～3面の設問について、皆さんのご意見をお聞かせください。

- **はがき**で答える…… 下記のはがきで、企画課宛てにお送りください(切手不要)。
- **インターネット(Webアンケート)**で答える…… 右記二次元コードからご回答いただけます。
- **区民ワークショップ**に参加する……

基本政策ごとに、区民の皆さんによる対話形式でご意見をお聞きする区民ワークショップを開催します(説明会ではありません。)。参加を希望する方は、以下の内容をご確認の上、**10月8日(火)まで**に、電子申請、メール、FAX、はがきのいずれかの方法でお申し込みください。

【電子申請】右記二次元コードから申込みいただけます。

【メール、FAX、はがき】①参加希望回(複数回参加希望の場合は、希望順に記載)②住所③氏名(ふりがな)④電話番号(⑤託児サービス(4か月以上就学前)希望の場合は、子どもの人数・名前(ふりがな)・年齢)を記載の上、企画課へお送りください。

Webアンケート
はこちら



区民ワークショップ
の申込みはこちら



【区民ワークショップの日程等】

回	基本政策	日時	会場
第1回	健康で安心な生活基盤の整備	10月12日(土) 9時45分～12時15分	区民センター 3階 3-A会議室
第2回	環境の保全と快適で 安全なまちづくり	10月12日(土) 14時30分～17時00分	
第3回	子どもたちに輝く未来をつなぐ	10月13日(日) 9時45分～12時15分	シビックセンター 3階 会議室1・2
第4回	活力と魅力あふれるまちの創造/ 文化的で豊かな共生社会の実現	10月16日(水) 18時30分～21時00分	

※定員は、各60人程度です(定員を大幅に超える場合は、抽選となります。)

【提出されたご意見について】

- ・いただいたご意見は、要約した上で公表することがあります。
- ・個々のご意見に対する区からの回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。



問合せ・
意見提出先

文京区企画政策部企画課

〒112-8555 文京区春日1-16-21
文京シビックセンター15階

TEL (5803) 1126 FAX (5803) 1330
メール b050500@city.bunkyo.lg.jp

郵便はがき

1 1 2 8 7 1 1

006

文京区企画政策部企画課 行

文京区春日一丁目十六番二十二号



差出有効期限
令和元年
10月23日まで
(切手不要)



住所 (所在地)	
氏名 (名称)	
年齢	10代以下 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上